



# ＜やまがた緑環境税を活用する事業の展開について【平成27年度】2月補正後＞

資料1-1

## やまがた緑環境税活用事業815,368千円（うちやまがた緑環境税642,956千円）

### I 環境保全を重視した施策の展開 655,727千円(うちやまがた緑環境税483,315千円)

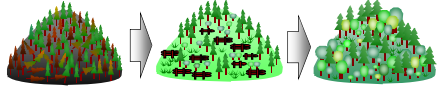
#### ① 環境保全を重視した森林整備の推進 (606,715千円 うち緑環境税434,303千円)

◆**荒廃森林緊急整備事業** 1,321ha (林業振興課：599,719千円 うち緑環境税427,307千円)

口水源かん養など公益的機能の高い森林を育成(針広混交林整備) 事業量85ha 31,210千円(うち緑環境税26,626千円)  
スギ人工林に広葉樹を導入するための強度の間伐及びこれに必要な森林作業道の設置など

やまがた緑環境税による整備  
森林整備 48ha 20,297千円(うち 税20,297千円)

国庫補助事業を活用した整備(環境林整備事業)  
森林整備 37ha 10,913千円(うち 税6,329千円)



～自然生態系が豊かで公益的機能が高度に発揮される森林～



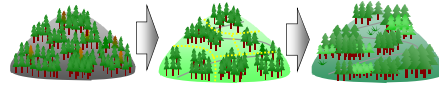
#### ロス人工林の再生を起点とした

環境に配慮した森林経営の展開(長期育成林整備) 事業量726ha 367,389千円(うち緑環境税199,561千円)

間伐及びこれに必要な森林作業道の設置など、森林組合等が森林所有者に代わって施業を一元管理し、森林の公益的機能を持続的に発揮する仕組みを構築

やまがた緑環境税による整備  
森林整備等 330ha 118,609千円(うち 税118,609千円)

国庫補助事業を活用した整備(森林環境保全直接支援事業)  
森林整備等 396ha 248,780千円(うち 税80,952千円)



～多様な樹齢からなる森林が面的に配備され、公益的機能が持続的に発揮される森林～



#### ② 環境保全に配慮した資源循環利用の促進(49,012千円)

◆**森林資源循環利用促進事業** 48,723m<sup>3</sup> (林業振興課：41,820千円)

間伐等に伴い発生する低質材を、合板や燃料用パレット等に

利用するための搬出等に対し支援を行う。

・合板等：28,195m<sup>3</sup> ・バイオマス燃料：20,528m<sup>3</sup>

◆**やまがたの木の暮らし・街づくり促進事業** (林業振興課：1,250千円) 【新規】

豊かな木のある暮らしの実現に向けて、

未利用間伐材を活用した木工製品の普及と利用拡大を図る。

◆**広葉樹林健全化促進事業**

(里山林の若返りと資源の積極活用) 5,642m<sup>3</sup> (林業振興課：5,642千円)

ナラ枯れ被害木を伐採してナラ林の若返りと害虫の駆除を行うとともに、

チップ等への活用を進めるため、搬出及び作業道の設置に支援を行う。

・伐採搬出支援：5,642m<sup>3</sup> 5,642千円 ・面的防除支援：0箇所 0千円

◆**ナラ枯れ被害対策検証事業** (林業振興課：300千円)

面的防除対策等の手法検討や、効果の検証等を行う。



### II 21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築 (133,518千円)

#### ① 県民参加の森づくりの推進 (120,678千円)

【**県民みんなで支える森・みどり環境公募事業**】(みどり自然課：29,891千円)

NPOや地域のボランティア団体等による森づくり活動の支援

一般助成 テーマ助成

- 1 森林・自然環境学習 1 森づくりと一体となった木質バイオマスの利活用
- 2 自然環境の保全活動 2 里山資源の活用と交流
- 3 豊かな森づくり活動 3 暮らしの中に木を使う
- 4 森林資源の利活用

【**みどり環境交付金事業**】(みどり自然課：89,666千円)

市町村が地域の課題に応じ、主体的に取り組む森づくり活動等の支援

- 1 森林・自然環境学習(学校林等を活用した環境学習の推進)
  - 2 自然環境の保全活動(水環境の保全、希少野生生息地の保全)
  - 3 豊かな森づくり活動(地域住民や企業との協働による森づくり)
  - 4 森林資源の利活用(県産材の普及啓発、間伐材やバイオマスの利活用)
- ※ 基本配分枠50,000千円・特別配分枠40,000千円

【**やまがたの森プロジェクト推進事業**】(みどり自然課：1,121千円)

企業の森づくり活動への支援、整備森林によるCO<sub>2</sub>の吸収量の認証等



#### ② 自然環境保全対策の推進 (9,563千円)

【**生物多様性戦略推進事業(一部)**】

(みどり自然課：4,180千円)

自然環境の変化等についての総合的なモニタリング調査

【**鳥獣保護管理法推進事業(一部)**】

(みどり自然課：1,911千円)

里山を中心とした大型野生動物の実態調査

【**総合クマ対策推進事業(一部)**】

(みどり自然課：2,049千円)

森林生態系の構成要素であるクマの生息状況調査等

【**大型鳥獣等野生復帰事業(一部)**】

(みどり自然課：1,423千円)

傷病等で救護された野生鳥獣の復帰支援

#### ③ 自然環境学習や森に親しむ環境づくりの推進 (3,277千円)

【**自然環境学習推進事業**】

(みどり自然課：1,512千円)

森林環境学習に関する副教材等の作成

【**総合支庁自然環境学習推進事業**】(1,765千円)

- ◇村山総合支庁
  - ・里山の森づくりサポーター育成事業(森林整備課)
- ◇最上総合支庁
  - ・最上の自然環境教育マスター養成事業(森林整備課)
- ◇置賜総合支庁
  - ・みんな一緒に森林活動フィールド振興事業(福祉課)
  - ・おきたま森林・自然環境学習推進事業(森林整備課)
- ◇庄内総合支庁
  - ・出羽庄内公益の森づくり事業(森林整備課)

### III 新たな森づくりの推進 (26,123千円)

#### ① 推進体制の整備 (17,397千円)

【**やまがた緑県民会議**】(みどり自然課：1,580千円) 【拡充】

緑県民会議の開催、緑環境税制度の評価検証

【**森づくりサポート体制推進事業**】(みどり自然課：15,817千円) 【拡充】

県民参加の森づくり活動の総合的な支援、指導者等人材の育成



#### ② 普及啓発の強化 (8,726千円)

【**みどりの循環県民活動推進事業**】

(みどり自然課：8,102千円) 【新規】

- ・県民が気軽に森づくりに参加できる仕組みの構築(森のホームステイ、間伐体験、木工教室の開催等)
- ・森の感謝祭の開催
- ・やまがた緑環境税の普及啓発 等



【**水資源保全推進事業(一部)**】

(環境企画課：300千円)

水資源と森林の保全に関する啓発

【**やまがた緑環境税広報事業**】

(税政課：324千円)

やまがた緑環境税の周知、広報

#### 5年間の森林整備面積目標

今後5年間(H24~28)で適切に整備された森林が6,500ha増加  
(※内訳：特に保全上重要な人工林3,500ha、特に荒廃が顕著な里山林3,000ha)

みんなが安心して  
喜らせる緑豊かな  
「やまがた」

#### 5年後の森づくり参加人数目標

今後5年間(H24~28)で、約2万人増加  
(H19)6万人→(H23)8万人→(H28)10万人

平成27年度「やまがた緑環境税」活用事業（ハード） 取組状況一覧（平成28年3月末見込み）

（単位：千円）

区分	事業名	担当課	事業の概要	事業量等 (年間実績見込み)	H27最終予算額 ( )は国庫補助含みの額	実績見込み (H28.3月末)
I 環境保全を重視した 施策の展開	<b>① 環境保全を重視した森林整備の推進</b>					
	□ 荒廃森林緊急整備事業	林業振興課	長期に管理放置された森林を整備し、森林の公益的機能を確保	1,321 ha	427,307 (599,719)	地域ごとの実績見込み：村山369.0ha、最上181.1ha、置賜238.5ha、庄内532.2ha
	水源かん養などの公益的機能の高い森林の整備（針広混交林整備）		○スギ人工林に広葉樹を導入するための強度の間伐や森林作業道の設置など	85 ha	26,626 (31,210)	地域ごとの実績見込み：村山75.5ha、最上1.0ha、置賜8.7ha
			・ やまがた緑環境税による整備	48 ha	20,297	地域ごとの実績見込み：村山46.9ha、最上1.0ha
			・ 国庫補助事業を活用した整備（環境林整備事業）	37 ha	6,329 (10,913)	地域ごとの実績見込み：村山28.6ha、置賜8.7ha
	スギ人工林の再生を起点とした環境に配慮した森林経営の展開（長期育成林整備）		○間伐及び森林作業道の設置など、森林組合等が森林所有者に代わって施業を一元管理し、森林の公益的機能を維持する仕組みを構築	726 ha	199,561 (367,389)	地域ごとの実績見込み：村山188.5ha、最上156.6ha、置賜120.3ha、庄内260.2ha
			・ やまがた緑環境税による整備	330 ha	118,609	地域ごとの実績見込み：村山113.5ha、最上114.0ha、置賜100.8ha、庄内1.3ha
			・ 国庫補助事業を活用した整備（森林環境保全直接支援事業）	396 ha	80,952 (248,780)	地域ごとの実績見込み：村山75.0ha、最上42.6ha、置賜19.5ha、庄内258.9ha 国庫補助金（森林環境保全直接支援事業）の本県配分額が計画を下回ったため、事業量が約25%減少した。
	病害虫等で活力が低下した里山林の再生（里山林整備）		○病害虫被害木の伐採、広葉樹の植栽など	510 ha	201,119	地域ごとの実績見込み：村山105.0ha、最上23.5ha、置賜109.5ha、庄内272.0ha
			・ 病虫害や風雪害等により、自然回復出来ない広葉樹林の整備	423 ha	174,217	地域ごとの実績見込み：村山84.5ha、最上4.9ha、置賜84.9ha、庄内253.3ha
			・ ナラ枯れ2次被害対策	5 ha	(上記に含まれる)	地域ごとの実績見込み：最上4.9ha
	□ 森林資源の再生	(小計)	・ 森林景観整備(市町村補助)	82 ha	26,902	地域ごとの実績見込み：村山20.5ha、最上18.6ha、置賜24.6ha、庄内18.7ha
			再造林とその後の保育施業を、森林組合等が森林所有者に代わって一元管理し、森林の公益的機能を持続的に発揮する仕組みを構築	40 ha	6,996	地域ごとの実績見込み：村山0.5ha、最上31.0ha、庄内8.5ha
	<b>② 環境保全に配慮した資源循環利用の促進</b>					
	□ 森林資源循環利用促進事業	林業振興課	間伐で発生する低質材を、合板等やペレット等のバイオマス燃料として利用するための搬出への支援	48,723 m3	41,820	合板工場等の生産調整による材の受け入れ制限があったため、当初計画よりも事業量が約20%減少した。
			① 合板・パルプ用	28,195 m3	16,152	県外搬出（合板等）は実績見込みで22,400m <sup>3</sup> 、県内搬出（ラミナ、チップ等）は実績見込みで5,795m <sup>3</sup>
			② 木質燃料用	20,528 m3	25,668	間伐材のバイオマス燃料利用は実績見込みで9,327m <sup>3</sup> 、バイオマス発電利用は1,380m <sup>3</sup> 経営計画対象森林での伐採による林地残材のバイオマス燃料・発電利用は9,950m <sup>3</sup>
	□ やまがたの木のある暮らし・街づくり促進事業	林業振興課	豊かな木のある暮らしの実現に向けて、県産木材を活用した木工製品の普及と利用拡大を図る。	1 式	1,250	県産木工品プロダクトコンペの実施を支援。76点の応募があり、審査会により山形県知事賞等を決定し、受賞作品を中心に巡回展示中。
	□ 広葉樹林健全化促進事業	林業振興課	ナラ枯れ被害木を含むナラ林の伐採によるチップ等への活用とナラ林の若返り、害虫の駆除を行うための搬出への支援		5,642	
			・ 伐採搬出に関する助成	5,538 m3	5,642	広葉樹林の伐採・搬出支援の実績見込みは5,538m <sup>3</sup>
□ ナラ枯れ被害対策検証事業	林業振興課	・ 面的防除に関する助成	0 箇所	0	ナラ枯れの面的防除手法である「大型集積型おとり丸太の設置」は、伐採搬出時期がカシノナガキクイムシの羽化脱出時期以降になるため設置できなかった	
		合成集合フェロモンによる面的防除対策や専門家による効果検証など	フェロモン設置：6箇所	300	合成集合フェロモンの設置：6箇所、検討会の開催：2月8日	
		(小計)		49,012		
<b>I (ハード事業)計</b>		<b>計</b>		<b>483,315</b> (655,727)	<b>当初予算 518,323(△35,008)</b> <b>(732,886 (△77,158))</b>	



平成27年度「やまがた緑環境税」活用事業（ソフト） 取組状況一覧（平成28年3月末見込み）

(単位：千円)

区分	事業名	担当課	事業の概要	事業量等 (年間実績見込み)	H27最終予算額 ( )は国庫補助含みの額	実績見込み (H28.3月末)
II 21世紀にふさわしい 県民と森林の関わり の構築	<b>① 県民参加の森づくりの推進</b>					
	■県民みんなで支える森・みどり環境公募事業	みどり自然課	森づくり活動等の公募事業(事業主体:地域住民 補助率10/10)	一般助成:107事業 テーマ助成:7事業	29,891	【一般】森林・自然環境学習:34事業、自然環境の保全活動:12事業、豊かな森づくり活動:54事業、森林資源の利活用:7事業 【テーマ】木質バイオマスの利活用:3事業、里山資源の活用と交流:3事業、暮らしの中に木を使う:1事業
	■みどり環境交付金事業	みどり自然課	市町村への交付金事業(事業主体:市町村 交付率10/10)	168事業 内特別枠62事業	89,666	①森林・自然環境学習:61(21)事業、②自然環境の保全活動:10(4)事業、 ③豊かな森づくり活動:52(20)事業、④森林資源の利活用:45(17)事業 ( )は特別枠
	■やまがた絆の森プロジェクト推進事業	みどり自然課	企業による森づくりの推進、企業等の整備森林による二酸化炭素の吸収量等の認証等	27協定(1協定新規 5協定継続) 32企業・団体等(1企業新規 7企業継続)	1,121	●新規企業の協定締結に向けて、企業訪問によるPR(27協定(1協定新規 5協定継続)、32企業・団体等(1企業新規 7企業継続)) ●山形県CO2森林吸収量認証(23件、28企業、森林吸収量426.75t-CO2/年)
		(小計)			120,678	
	<b>② 自然環境保全対策の推進</b>					
	■生物多様性戦略推進事業(一部)	みどり自然課	自然環境の異変を早期に察知する調査・検討	各種調査	4,180	●ブナ豊凶調査(環境科学センターで調査)●希少野生生物分布調査(委託事業で実施) ●レットデータブック改訂動物版作成に向け調査を実施
	■鳥獣保護管理法推進事業(一部)	みどり自然課	里山を中心とした大型野生動物の実態調査	ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル等大型野生動物の生息動向調査	1,911	●ニホンジカに関する現地調査(目撃箇所の植生調査、自動カメラによる生息調査、スポットライトセンサス)を森林研究研修センターで実施。 ●大型野生動物生息動向調査等(山形大学に委託)
	■総合クマ対策推進事業(一部)	みどり自然課	森林生態系の構成要素であるクマの生息状況調査等	クマの生態調査、 狩猟者育成研修	2,049	●ツキノワグマ生息動向調査((一社)山形県猟友会に委託) ●狩猟免許取得初心者講習会(7/14村山会場実施113名受講、7/19庄内会場43名受講)
	■大型鳥獣等野生復帰事業(一部)	みどり自然課	傷病等で救護された野生鳥獣の復帰支援	クマ放獣、救護所巡回指導	1,423	●野生復帰事業((有)ワイルドライフ・ワークショップに委託)
		(小計)			9,563	
	<b>③ 自然環境学習や森に親しむ環境づくりの推進</b>					
	■自然環境学習推進事業	みどり自然課	森林環境学習に必要な副教材やポケット版教材の作成・配布	副教材、ポケット版教材の作成・ 配布	1,512	●森林環境学習副教材等の作成・配布(8月～:県内全小学5年生・全校 12,100部) ●ポケット版教材「森のたんけん手帳」の増刷・配布(7月～:みどりの少年団、県内関係機関等 10,000部)
	■総合支庁実施事業				1,765	
	・里山の森づくりサポーター育成事業	村山総合支庁 森林整備課	気軽に森について学び、森づくり活動に参加できるフィールドを県民の森に設定しボランティア団体などの一般県民を森林案内や木工クラフトのサポーターとして育成する。	研修会2日間	141	●森の案内人育成研修会開催(6月20日、21日 県民の森、参加者10人、登録者3人)
・最上の自然環境教育マスター養成事業	最上総合支庁 森林整備課	「巨樹の国」最上の自然遺産、生活文化を次世代に引き継ぐための自然環境教育指導者の育成(養成講座の開催)	養成講座3回、指導者登録5名	354	●春の講座(6/27～28)参加者:17名、秋の講座(11/7～8)参加者:14名。この2講座で6名の案内人登録を達成。 ●冬季閉園の特性を活かした冬の講座を2月20日に開催。参加者18名。	
・みんな一緒に森林活動フィールド振興事業	置賜総合支庁 福祉課	森林活動インストラクターの介助案内研修及び障がい者等の森林体験活動による実証作業	介助案内研修1回、森林活動2 回、検討会議1回	146	●介助案内研修(9/29)開催 ●障がい者等の森林体験(10/8米沢市「市民の森西沼」・10/15高島町「蛭沢湖」)開催 ●次年度の事業内容の検討会議開催(3/2)	
・おきたま森林・自然環境学習推進事業	置賜総合支庁 森林整備課	「源流の森」における、森づくり活動などの支援を行う人材「森の案内人」の養成。「源流の森」を活用した新たな森づくり活動を推進するため条件整備等。	養成講座3回(総合講座1回、専 門講座2回)、測量・地植え	518	●養成講座 6/27,28開催に総合講座、9月5日に1回目の専門講座、10月24日に2回目の専門講座を開催。受講者36名に修了書交付、 うち登録者11名)●測量・地植え:8月28日完了	
・出羽庄内公益の森づくり事業	庄内総合支庁 森林整備課	庄内海岸クロマツ林を保全するための出羽庄内公益の森づくりを考える会の開催、ボランティア活動支援や指導者の育成、森林環境教育の推進	ボランティア活動支援等84回、	606	出羽庄内公益の森づくりを考える会の開催(計画3回・実績2回)、ボランティア活動の支援(計画20回・実績20回)、森林環境教育の支援(計 画40回・実績60回)、ボランティアリーダー研修(計画1回・実績2回)	
	(小計)			3,277		
<b>II 計</b>		<b>計</b>			<b>133,518</b>	<b>当初予算 134,300(△782)</b>
III 新たな森づくりの 推進	<b>① 推進体制の整備</b>					
	■やまがた緑県民会議	みどり自然課	やまがた緑県民会議の開催、やまがた緑環境税制度・税を活用した事業の評価検証	県民会議4回	1,580	●やまがた緑県民会議4回開催(6/4、10/7、2/18、3/22(予定))
	■森づくりサポート体制推進事業	みどり自然課	県民参加の森づくり活動の総合的な支援、地域での森づくり団体のネットワーク化の支援、森づくり活動への支援等を担う人材の育成	年間支援 森づくり報告会4回	15,817	●森づくり団体(一般及び企業)活動支援 ●講習会の開催 ●企業の森づくり支援仕組みづくり(候補地調査等) ●パネル展示 ●森づく りサポーター育成研修(8/8-9、9/19) ●森づくりセミナー&活動報告会の開催(1/16、1/17、1/23、1/30)
		(小計)			17,397	
	<b>② 普及啓発の強化</b>					
	■みどりの循環県民活動推進事業	みどり自然課	新たな森づくりへの理解を深めてもらうため、森の感謝祭の開催や普及啓発活動の展開	森の感謝祭1回、地区感謝祭	8,102	●6/6やまがた森の感謝祭2015開催 ●各地区森の感謝祭(9/27村山、9/19置賜、10/17～18(鶴岡市)・10/31～11/1(酒田市)庄内) ● 森づくりリレー(6月～) ●普及啓発物品(コースター等)作成 ●PRパネル展●広報誌もしあ春号・秋号発行、配布)●森林のエネル ギー見学会&間伐体験の開催(10/12 11/3)
	■森林の水資源涵養機能の理解促進	環境企画課	水資源保全推進事業(一部)	地域フォーラム2回	300	●水資源の保全や森林の水資源涵養機能に関する「美しい水と森のフォーラム」を開催(県内2か所)
	■やまがた緑環境税広報啓発事業	税政課	やまがた緑環境税の周知、広報	タウン情報誌広告 1回	324	●タウン情報誌「月刊山形ZERO☆23」(2015年10月号(平成27年9月27日発行))に広告を掲載
		(小計)			8,726	
	<b>III 計</b>		<b>計</b>			<b>26,123</b>
<b>II + III (ソフト事業)計</b>		<b>計</b>			<b>159,641</b>	<b>当初予算 160,677(△1,036)</b>
		<b>合計</b>			<b>642,956</b>	<b>当初予算 679,000(△36,044)</b>
					(815,368)	(893,562 (△78,194))